

24 生涯を通じた学びの充実

第3期プラン 3-(1)-ア

生涯にわたって主体的に学び続けるという生涯学習社会の形成に向け、学び直しができる環境の整備を図るとともに、学びの成果を学習支援活動や地域の課題解決等の実践にいかすことができる持続可能な学びの場を創出する。

令和4年度
重点実践事項

● 生涯を通じて、主体的に学び続けるための学習機会・情報の提供

実践目標

1

主体的に学び続けるための学習機会・情報を提供する

3

人生100年を通じた学びの推進



重点!

① 学習の機会・情報の提供 全社

幼児児童生徒が生涯を通じて学び、自己を磨き、地域社会の一員として活躍できるよう、地域資源を活用した学習活動の展開を工夫する。

② 障害のある人の学習機会の充実 全社

「障害者の権利に関する条約」の批准等を踏まえ、誰もが障害の有無に関わらず、共に学び合える学習機会を提供するため、関係機関や団体との連携を図る。また、学校卒業後の学びや社会とのつながりをつくる取組を支援する。

③ 人権に関する学習機会の充実 社

人権教育資料を活用したり、地域の文化、伝統産業に関する学習や世代間交流を行ったりするなど、地域の実情に応じた多様な学習の機会の提供や情報を発信することにより、差別や偏見のない、一人一人の人権が尊重され、心と心が豊かにつながる地域づくりを推進する。



研究員による一般セミナー
(県立人と自然の博物館)

④ 地域課題への理解と専門性の向上 社

社会教育の動向を学ぶとともに、地域との積極的な関わりを通して地域の課題についての理解を深めるなど自己研鑽に努める。

⑤ 連携・協働のための資質・能力の向上 社

地域と連携・協働した学習活動をより活性化するため、関係機関と連携を深め、協働を進めるコーディネーターとしての資質・能力の向上に努める。

⑥ 地域のネットワークの形成 社

地域や学校における課題の解決に向けて、地域住民や地域活動団体等と連携・協働するとともに、対面やオンラインによる幅広いネットワークを形成し、情報交換や相互協力を進める。



自然散策をテーマにした自然学校講座
(県立南但馬自然学校)

関係資料

※関係資料一覧より一部抜粋
※一覧はP67のQRコードから閲覧可

平成29・30年度兵庫県社会教育委員会議審議報告「多様な人々の協働を進め、一人一人が社会的に包摂され、主体的に参画できる社会の実現を目指す社会教育のあり方」
(R1 県社会教育委員会議)